

平成31年度

大学院保健看護学研究科
保健看護学専攻（博士後期課程）
学 生 募 集 要 項



京都府公立大学法人

京都府立医科大学大学院
保健看護学研究科

保健看護学研究科博士後期課程アドミッションポリシー

『求める学生像』

- 1 保健看護学の専門的知識を基盤に、臨床および教育現場で活用可能な理論と方法論の創出に貢献する意欲のある人
- 2 地域社会において保健・医療サービスを提供するためのシステムの構築およびマネジメントに貢献する意欲のある人
- 3 専門職としての高度で専門的な知識と技術、高い倫理観に裏付けられた看護実践や教育の推進に意欲のある人
- 4 不断の自己研鑽ができる人

『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、指導者、管理者、教育者、研究者として国際的に保健医療活動に貢献できる人を求める。

本学の入試では、共通科目および専門科目の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志望理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。

= 目 次 =

学 生 募 集 要 項

1	募集人員	1
2	出願手順	1
3	入学者選抜方法	1
4	出願資格	2
5	出願資格の認定	2
6	本学特別研究単位認定教員との事前相談	3
7	身体等に障害のある入学志望者との事前相談	3
8	出願手続	4
9	合格発表	5
10	入学手続等	5
11	留意事項	6
12	その他の注意事項	6
	入学試験会場案内	7
	所定の用紙（事前相談等連絡票）	8

保健看護学研究科保健看護学専攻博士後期課程の概要

【教育の理念と目的】	9
【教育課程の概要】	9
1 教育課程	9
2 履修方法	9
3 修了要件等	9
4 学位の名称	10
5 長期履修制度	10
表1 授業科目と担当教員	11
表2 保健看護学研究科博士後期課程特別研究単位認定教員一覧	12

[学 生 募 集 要 項]

【1 募集人員】

研究科名	課程名	領域・分野名	募集人員
保健看護学研究科	博士後期課程	保健看護学領域 ・基盤実践保健看護学分野 ・広域実践保健看護学分野	3名 〔社会人としての 入学生を含む〕

【2 出願手順】

(1) 出願資格の確認（2～3頁を参照のこと）

なお、出願資格認定を必要とする者は、次の期間内に手続きを行うこと。

・出願資格認定申請期間 平成30年6月1日（金）～平成30年6月29日（金）

(2) 本学特別研究単位認定教員との事前相談（3頁を参照のこと）

・事前相談期間 平成30年6月1日（金）～平成30年7月20日（金）

(3) 出願手続（4～5頁を参照のこと）

・出願期間 平成30年7月17日（火）～平成30年7月24日（火）

【3 入学者選抜方法】

入学者の選抜は、筆記試験および面接試験の結果、並びに提出された出願書類を基に行う。

(1) 試験科目等

① 筆記試験

以下の2科目の両方を解答する。

・共通科目 [総合問題及び英語]

・専門科目 [出願した研究分野に関する問題]（12頁の表2参照）

※英語の試験が含まれる共通科目では、本学が貸与する英和辞書の使用を可とする。
（貸与する辞書以外、試験会場への辞書の持ち込みは不可）

② 面接試験

出願者が希望する研究課題に関するプレゼンテーション（10分以内）及び本学面接実施教員との口頭試問で構成し、この中で指導的・実践的な高度専門職者となるに相応しい資質及び適性、並びに志望する研究課題等を評価する。

※プレゼンテーションを行うに当たり、パワーポイントの使用を希望する者は、入学志望理由書（様式4）の「面接試験時におけるパワーポイント使用の有無」欄中、「使用する」を○で囲むこと。

(2) 試験日時

試験日	科目	時間
平成30年8月24日(金)	筆記試験	
	共通科目	9:00～11:00(120分)
	専門科目	11:20～12:20(60分)
	面接試験	14:00～

(3) 試験会場 京都市上京区清和院口寺町東入ル中御霊町410
(7頁の入学試験会場案内のとおり)

【4 出願資格】

次の(1)～(4)のいずれかに該当する者又は(1)～(3)のいずれかに入学前年度の3月31日までに該当する見込みのある者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 保健看護学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学前年度の3月31日現在において24歳以上の者

なお、(4)により出願しようとする者は、出願資格認定に係る審査を行うので、必ず事前に問い合わせを行うこと。(下記5参照)

【5 出願資格の認定】

出願資格の認定を受けて出願しようとする者は、次により必ず事前に出願資格の認定申請を行うこと。

また、認定申請の前に、出願しようとする研究分野の本学特別研究単位認定教員に対して事前相談を必ず行うこと。(3頁参照)

- (1) 出願資格認定申請期間
平成30年6月1日(金)～平成30年6月29日(金)
(期間内に必着のこと。申請期間後に到着した場合は受理しない。)

- (2) 申請先
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
京都府立医科大学学生部学生課入試担当 電話(075)251-5167

- (3) 申請書類
次の書類を申請期間内に到着するように郵送又は持参により提出すること。
(直接持参する場合、受付時間は午前9時から午後4時まで。)

提出書類等	内 容
ア 出願資格認定申請書	本学所定の用紙（様式1）に必要事項を明記すること。
イ 出願資格認定に係る志望理由書	本学所定の用紙（様式2）に必要事項を明記すること。
ウ 卒業証明書 [学 部]	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。
エ 成績証明書 [学 部]	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。
オ 既発表の研究論文(写)	筆頭著者として学術雑誌に掲載された研究論文のコピー1編以上
カ 返信用封筒	角形2号の封筒に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、380円切手を貼付したもの。

(4) 認定審査結果

出願資格認定に係る審査の結果は、本人あて書面で通知する。

【6 本学特別研究単位認定教員との事前相談】

出願しようとする全ての者は、出願に先立ち、入学後の研究計画等について、希望する研究分野の本学特別研究単位認定教員との事前相談が必要となっている。

については、次の連絡先まで、事前にメールまたはFAXにより送信・連絡の上、相談日時の予約を行うこと。

なお、連絡の際は、本学所定の用紙（8頁）を使用すること。

(連 絡 先) 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
京都府立医科大学学生部学生課入試担当
 電 話：(075)251-5167
 F A X：(075)251-5216
 メール：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp

(事前相談期間) **平成30年6月1日(金)～平成30年7月20日(金)**

※相談時間は各日とも、原則として午前9時から午後5時までとする。

※教員の都合により、必ずしも希望する日時とならない場合がある。

【7 身体等に障害のある入学志望者との事前相談】

身体等に障害のある入学志望者で、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、**平成30年6月1日(金)から平成30年7月3日(火)まで**に本学学生部学生課入試担当まで文書（任意様式）で照会すること。

【8 出願手続】

(1) 出願期間

平成30年7月17日(火)～平成30年7月24日(火)までの消印のある書留郵便に限り受け付ける。

(2) 出願書類提出先

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

京都府立医科大学学生部学生課入試担当 電話(075)251-5167

(3) 出願書類

次の書類を本学所定の封筒に入れ、出願受付期間内に到着するよう「書留郵便」で送付すること。**郵送以外の方法により出願した場合は受理しない。**

提出書類	内 容
①入学志望書	本学所定の用紙(様式3)に必要事項を明記すること。
②入学志望理由書	本学所定の用紙(様式4)に必要事項を明記すること。
③受験票及び照合票	本学所定の用紙に必要事項を明記し、出願前3箇月以内に撮影した、縦4cm・横3cmの脱帽、正面、上半身、単身の写真をそれぞれ所定欄に貼り付けること。また、写真裏面に氏名を記入のこと。(受験票及び照合票の写真は、同一のものを使用すること。)
④修了(見込)証明書 [修士課程又は 博士前期課程]	出身大学の学長又は研究科長が作成したもの。
⑤成績証明書 [修士課程又は 博士前期課程]	出身大学の学長又は研究科長が作成し、厳封したもの。
⑥出願資格認定審査 結果通知書(写)	出願資格認定を受けて出願する者に限り、本学から通知の「審査結果(通知書)」のコピーを提出すること。 ※この場合、上記④、⑤の提出は不要
⑦入学考査料	30,000円 本学所定の入学考査料振込依頼書を使用して金融機関で振り込むこと。(現金、小切手等では一切受け付けない。) その際、金融機関から発行される「振込金領収証明書(大学提出用)C票」に金融機関の領収印があることを確認し、入学志望書の裏面の指定位置に貼り付けること。 ※本学保健看護学研究科修士課程を入学前年度の3月31日までに修了見込みである者は不要

提出書類	内 容
⑧返信用封筒 (受験票返送用封筒)	本学所定の封筒で、入学志望者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、 郵便切手392円(簡易書留郵便) を貼り付けること。
⑨あて名票	郵便番号、住所、氏名を記入すること。なお、合格通知の際に使用するので、入学志望書の受信場所の欄と同様、合格通知が最も早く本人に送付できる場所を記入すること。

※提出書類等の氏名は、通称や略字などを使用せず、戸籍簿（外国人の場合は外国人登録をした氏名で通称名を除く。）に記載のとおりに入力すること。

【9 合格発表】

(1) 日 時

平成30年9月7日(金) 午前10時15分

(2) 場 所

京都府立医科大学河原町キャンパス内掲示板に掲示するとともに、合格者に通知し、併せて入学手続きに必要な書類を送付する。また、本学ホームページにも、上記合格発表日時以降に合格者の受験番号を掲載するが、ホームページでの情報提供は参考情報であるため、合否の確認は、本学構内の掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認すること。

なお、電話、メール、FAX等による合否の問合せには、一切応じない。

本学ホームページアドレス : <http://www.kpu-m.ac.jp>

【10 入学手続等】

(1) 日 時

平成30年9月20日(木)、21日(金) 午前9時～午後4時

なお、上記日時に手続きを行わなかった者は、入学を辞退したものとみなす。

(2) 入学手続の場所

京都府立医科大学学生部学生課入試担当

(京都府立医科大学 河原町キャンパス 基礎医学学舎2階)

(3) 入学手続に必要なもの等

合格者に対しては、合格通知の際に入学手続きに必要な事項を通知するが、上記入学手続日に最低限必要なものは次のとおりである。

ア 入学料 282,000円

イ 誓書(本学所定の用紙)

- (注) ① 入学料は改定される場合がある。
② 入学料納入方法は合格通知の際に知らせる。
③ 納入した入学料は、返還しない。
④ 郵送による入学手続は受け付けない。
⑤ 授業料は入学後に別途指示する。(年額535,800円を2期(前期、後期)に分けて納付する。但し、金額は改定される場合がある。)
⑥ 入学前年度の3月31日までに修士課程又は博士前期課程を修了見込みで受験した者に限り、修了証明書及び成績証明書を修了後速やかに提出すること。
⑦ 入学前年度の3月31日までに本学の保健看護学研究科修士課程を修了し、引き続き、博士後期課程に進学する者については、入学料を要しない。

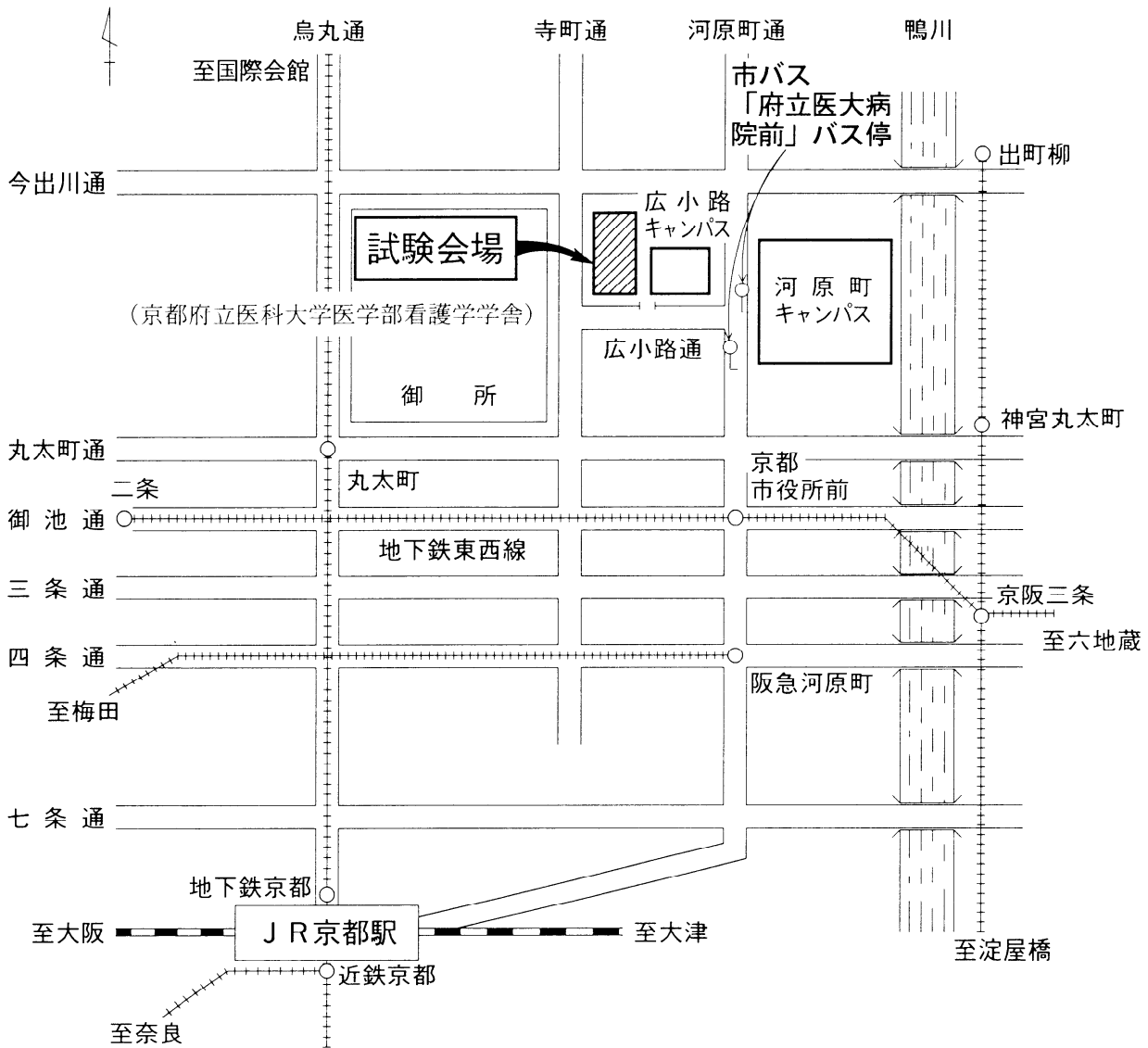
【11 留意事項】

- (1) 提出書類に記載事項の記入漏れ等の不備がある場合は受理しない。
- (2) 書類受理後の記載事項の変更は認めない。
- (3) 書類に虚偽の記載があった場合は入学許可後であっても入学を取り消すことがある。
- (4) 受信場所を変更したときは、直ちに届け出ること。
- (5) 受理した書類及び入学考査料は返還しない。

【12 その他の注意事項】

- (1) 試験会場の下見は許可しない。
- (2) 試験当日、合否電報等を扱っている者があっても、本学とは何ら関係がないので、一切責任は負わない。
- (3) 受験上の注意事項は次のとおりであるので十分留意すること。
 - ① 試験当日は、必ず受験票を持参し、試験の際、机の上に置くこと。
 - ② 試験当日は、所定の時刻(受験票に記載)までに試験会場の座席に着席すること。
 - ③ 試験開始時刻に遅れた場合は、試験会場の監督者に申し出て指示を受けること。15分以内の遅刻者は、やむを得ない理由がある場合に限り受験を許可するが、その他は一切許可しない。
 - ④ 試験問題についての質問及び受験生の私語は一切許さない。
 - ⑤ 試験会場では、特に指定のあったものを除き、受験票、黒鉛筆、黒色のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ類は不可) 定規、時計(時計機能のみのもにに限る。また、辞書、電卓等の機能がないか判別しづらいものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(箱又は袋から中身だけ取り出したもの) 以外は机の上に置かないこと。
 - ⑥ 解答には黒以外の鉛筆、シャープペンシルを使用してはならない。
 - ⑦ 携帯電話、スマートフォン、ウェアブル端末等は、試験室に入る前に電源を切ってかばん等に入れておくこと。

＜入学試験会場案内＞



試験会場 京都府立医科大学 看護学学舎内
京都市上京区清和院口寺町東入ル中御霊町410

交通機関 JR京都駅から
市バス 4・17・205号系統で「府立医大病院前」下車

(注) 試験会場の下見は許可しない。

事前相談等連絡票

京都府立医科大学大学院保健看護学研究科保健看護学専攻（博士後期課程） 平成31年度出願志望者

貴大学院の平成31年度入学を志望するにあたり、以下のとおり事前相談を希望しますので、よろしくお願ひします。

ふりがな 氏名		年齢	歳	性別	男・女
連絡先	〒 ----- TEL: 自宅 - - - - - 携帯 - - - - - FAX: -----				
志望内容	出願資格	出願志望研究分野名	教員名		
事前相談 希望日時	第1希望	平成 年 月 日 ()	午前・午後	時 分	～
	第2希望	平成 年 月 日 ()	午前・午後	時 分	～
	第3希望	平成 年 月 日 ()	午前・午後	時 分	～

(注1) 上記太線枠内を記入の上、メールまたはFAXにより送信してください。(やむをえない場合は郵送可)

なお、連絡を確実なものとするため、送付後、電話により受理された旨を必ず確認するようにしてください。

送信：メールアドレス：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp

FAX番号：075-251-5216

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上 梶井町465
京都府立医科大学学生部学生課入試担当
TEL 075-251-5167

(注2) 「年齢」は、平成31年4月1日現在のものを記入してください。

(注3) 「連絡先」は、確実に連絡がとれるところ(携帯電話を含む)を記入してください。

(注4) 「出願資格」は2頁を参考の上、該当する番号を記入してください。

(注5) 「出願志望専攻分野名」及び「教員名」は12頁を参考の上、記入してください。

(注6) 「事前相談希望日時」は、土日祝を除く9時から17時の間で、記入してください。

※本書式は、本学ホームページ https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam_daigakuin/hokenkango.html から入手可能です。

保健看護学研究科保健看護学専攻博士後期課程の概要

【教育の理念と目的】

保健看護学研究科保健看護学専攻博士後期課程では、社会の基盤となる健康的な地域づくりを支えるための看護実践に活用可能な理論構築やシステム開発を目指し、科学的な思考に基づいた京都府内や北部医療の看護ケアニーズを解決するための看護教育を通して地域からの付託に応えるとともに、高度な専門的知識と技術の発展に寄与し、より高度かつ先進的な教育・研究を推進する府内の教育中枢機関として機能することを理念に掲げる。

本学博士課程においては、「専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うものとする」ことを教育・研究上の目的としており、これを受け本課程では、従来からの医学研究科との連携をさらに強化することで、少子高齢社会など現代社会における医療問題の解決に向け、倫理性且つ論理性に裏付けられた質の高い保健や看護を提供するため、高度な研究能力と実践能力、教育能力の涵養を通じて、広域的な指導力を発揮できる高度な専門職業人及び学際的展開を図りうる保健看護学の教育・研究者の養成をその目的とする。

【教育課程の概要】

1 教育課程

共通科目として「研究方法論特別講義」、「生命・医療倫理特別講義」、「統計方法論特別講義」の必修3科目、専門科目に選択科目である「基盤実践保健看護学特別講義」「広域実践保健看護学特別講義」並びに必修科目である「保健看護学特別演習」及び「特別研究」を配置することで、これらの学修を通じて、高邁な倫理観を身につけるとともに、専攻分野に関して自立した教育研究や実践活動を行うに必要な能力とその基礎となる豊かな学識を涵養する。

2 履修方法

学生は自らの目標が達成できるように、指導教員の助言を受けて履修計画を立て、以下のように16単位以上を修得しなければならない。

(1) 履修科目と修得単位

ア 共通科目は、必修科目3科目を履修し、計6単位を修得する。

イ 専門科目は、選択科目で1科目2単位以上、必修科目である特別演習及び特別研究で計8単位、合計10単位以上を修得する。

(2) 研究指導

研究指導は、各自の研究指導教員による指導を主とするが、研究内容によっては複数の教員による研究指導体制をとる。

3 修了要件

(1) 修業年限

修業年限は3年とする。但し、在学期間は6年を超えることができない。

(2) 修了要件

修了要件は、共通科目 6 単位、専門科目 10 単位以上を履修し、計 16 単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上、博士論文に係る審査及び試験に合格することが必要である。

4 学位の名称

本研究科の課程を修了した者に与える学位は、

保健看護学専攻 博士（保健看護学）

**Graduate School of Nursing for Health Care Science, Doctor of
Nursing for Health Care Science**

である。

5 長期履修制度

本研究科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）を超えて一定の期間（最長6年まで）にわたり計画的に教育課程を履修することを申請する者については、審査のうえ許可することがある。

詳細については、学生課入試担当（電話：075-251-5167）まで問い合わせること。

表1 授業科目と担当教員

区分	授業科目名	単位数		配当年次	修了要件 履修単位	担当教員名 (◎は主担当教員を示す)	備考
		必修	選択				
共通科目	[1] 研究方法論特別講義	2	-	1前	6 単位	◎關戸啓子、星野明子、吉岡さおり	オムニバス
	[2] 生命・医療倫理学特別講義	2	-	1後		◎北島謙吾、森本昌史、瀬戸山晃一、松岡知子	オムニバス
	[3] 統計方法論特別講義	2	-	1後		手良向 聡	
	小計(3科目)	6	-				
特別講義	[4] 基盤実践保健看護学特別講義	-	2	1前	2 単位 以上	◎岩脇陽子、吾妻知美、關戸啓子、吉岡さおり、 滝下幸栄、室田昌子	オムニバス
	[5] 広域実践保健看護学特別講義	-	2	1前		◎星野明子、北島謙吾、江本厚子、松岡知子、 岩破一博、森本昌史、大橋純子	オムニバス
	小計(2科目)	-	4				
特別演習	[6] 保健看護学特別演習	2	-	1通	2 単位	山中龍也、北島謙吾、星野明子、岩脇陽子、 吾妻知美、江本厚子、松岡知子、關戸啓子、 岩破一博、森本昌史、吉岡さおり、滝下幸栄、 志澤美保、大橋純子、室田昌子、占部美穂	
	小計(1科目)	2	-				
特別研究	[7] 特別研究	6	-	1~3 通	6 単位	山中龍也、北島謙吾、星野明子、岩脇陽子、 吾妻知美、江本厚子、松岡知子、關戸啓子、 岩破一博、森本昌史、吉岡さおり、滝下幸栄	
	小計(1科目)	6	-				
合計(7科目)		14	4		16単位以上		

表 2

保健看護学研究科博士後期課程特別研究単位認定教員一覧

研究分野	教員名 (職位)	概要	室番号	電話番号	備考
基盤実践保健看護学	岩脇 陽子 (教授)	保健看護学の基礎研究を推進する上で必要な研究遂行能力の涵養や、臨床看護の科学性および理論性の追求を目指して、基盤実践保健看護学分野では、臨床における看護実践の基盤となる教育研究の学際的探究を目標とする。 慢性疾患看護学、がん看護学、看護教育学の諸問題に関する特別研究を指導する。基盤実践保健看護学特別講義で学修した理論的枠組みに沿って、仮説を立案して調査計画・実験を立案し、それぞれの研究手法・結果の解釈・文献レビュー・考察について学び、博士論文作成を行う。	322	212-5446	看護学科長
	吉岡 さおり (准教授)	保健看護学の基礎研究を推進する上で必要な研究遂行能力の涵養や、臨床看護の科学性および理論性の追求を目指して、基盤実践保健看護学分野では、臨床における看護実践の基盤となる教育研究の学際的探究することを目標とする。 がん看護学、慢性疾患看護学の諸問題に関する特別研究を指導する。基盤実践保健看護学特別講義で学修した理論的枠組みに沿って、仮説を立案して調査計画・実験を立案し、それぞれの研究手法・結果の解釈・文献レビュー・考察について学び、博士論文作成を行う。	314	212-5438	
広域実践保健看護学	星野 明子 (教授)	保健看護学の基礎研究を推進する上で必要な研究遂行能力の涵養や、臨床看護の科学性および理論性の追求を目指して、広域実践保健看護学分野では、地域包括ケアにおける課題を捉えて実践的介入支援方法を探究することを目標とする。 地域社会における世代ごとに異なる対象の健康課題と影響要因について文献検討を行う。母子や壮年期成人及び高齢者とその家族、集団の健康課題と影響要因の分析や、支援方法の開発などを視野に入れた研究課題に取り組む。さらに、地域診断を基にした健康と地域ネットワークやソーシャルキャピタルとの関連、地域保健施策やポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチなどの支援方法を実証的に検証することを目指す。研究の概念枠組みと研究手法の選択について指導し、博士論文を作成する。	310	212-5434	
	北島 謙吾 (教授)	保健看護学の基礎研究を推進する上で必要な研究遂行能力の涵養や、臨床看護の科学性および理論性の追求を目指して、広域実践保健看護学分野では、地域包括ケアにおける課題を捉えて実践的介入支援方法を探究することを目標とする。 精神看護学における精神障害者や虐待被害者（児）、認知症高齢者などを対象にした実践的な支援方法の諸問題に関する特別研究を指導する。広域実践保健看護学特別講義で学んだ理論的枠組みに沿って、仮説を立案して調査計画・実験を立案し、それぞれの研究手法・結果の解釈・文献レビュー・考察について学び、博士論文作成を行う。	301	212-5425	
	江本 厚子 (教授)	保健看護学の基礎研究を推進する上で必要な研究遂行能力の涵養や、臨床看護の科学性および理論性の追求を目指して、広域実践保健看護学分野では、地域包括ケアにおける課題を捉えて実践的介入支援方法を探究することを目標とする。 老年看護学及び在宅看護学における介護予防および認知症高齢者などを対象にした実践的な支援方法の諸問題に関する特別研究を指導する。広域実践保健看護学特別講義で学んだ理論的枠組みに沿って、仮説を立案して調査計画・実験を立案し、それぞれの研究手法・結果の解釈・文献レビュー・考察について学び、博士論文作成を行う。	318	212-5442	
	松岡 知子 (教授)	保健看護学の基礎研究を推進する上で必要な研究遂行能力の涵養や、臨床看護の科学性および理論性の追求を目指して、広域実践保健看護学分野では、地域包括ケアにおける課題を捉えて実践的介入支援方法を探究することを目標とする。 助産学および母性看護学についての文献検討等により、研究課題を多角的に深く探求し、明確化し、博士論文作成に向けた研究計画を立案する。また、研究計画に基づき、研究フィールドの確保、データ収集、データ分析の方法を学ぶ。効果が期待できる独創的な援助方法の開発と博士論文に関連する研究論文を作成し、可能なら、学会発表や学術雑誌に投稿する。中間発表を通して、博士論文完成に向けての課題を明確にしたうえで、独創性、発展性、汎用性の高い研究成果を目指す。	321	212-5445	

注 1 各教員の研究内容は、本学ホームページ <http://www.kpu-m.ac.jp/doc/department/hoken-kango/research.html> を参照のこと。

本募集要項に関する問合せ先

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465番地

京都府立医科大学学生部学生課入試担当

電話番号 075-251-5167 (直通)

問合せはやむをえない場合を除き入学志望者本人が行うこと。